



≪いつものグラウンドが調節池に≫



身近な場所でも起きている 自然の猛威に備えよう

これらの写真は、過去に三鷹市内で起きた大雨・台風時の様子と、同じ場所の普段の様子を比較したものです。近年、風水害は頻発化・激甚化しており、日頃からの備えが大切です。大雨や台風が多くなるこれからの時期に向け、各家庭や個人でできる対策を確認し、被害を最小限に抑えるための備えを進めましょう。 関防災課 ☎0422-24-9102



≪いつもの体育館が避難所に≫

災害は忘れた頃にやってくる



三鷹市長 河村 孝

災害が起きたとき、まちはどうなるのでしょうか。誰もが思う疑問です。今では、危険箇所をハザードマップに示すのが当たり前になっていますが、当初は「危ない箇所を地図で示すなんてもってのほか。土地の価値が下がるじゃないか」と真顔で怒る方もいました。それが大きく変わり、今は被害想定を細かく公表する時代になっています。大きな災害のたびに、私たちの意識は少しずつ変わってきました。

市では、市内に残る危険箇所への対策を講じていくとともに、災害の危険から一時的に身を守る避難場所についても、拡充に努めています。また、高齢者や障がいのある方をはじめ、特別な配慮が必要な方が安全に避難できるよう、福祉避難所の整備も進めています。こうした備えには、市民の皆様のご協力が欠かせません。自助・共助・公助、それぞれの力を合わせていきましょう。

YouTubeで配信中

